

事業番号	047
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	八雲町交流事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生活交流課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	交流係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		2 交流		3 姉妹都市・友好都市などとの交流を深める									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	1		目	3		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画	八雲町営小牧荘の利用料助成に関する要綱														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	年少者から高齢者まで幅広く、友好都市である八雲町を知ってもらい、八雲町との交流を促進する。														
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度をもって小牧荘が廃止になったことに伴い、新たな助成制度を創設し、引き続き宿泊料の助成を実施した。</li> </ul> <p>&lt;主な変更点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる施設を小牧荘1箇所から八雲町内の20箇所の宿泊施設に拡大</li> <li>中学生以上、小学生、小学生未満で助成額が異なっていたものを5,000円に統一</li> <li>対象者を小牧市在住、在勤、在学もしくは愛知県内の小牧市・八雲町交流市民の会会員とし、県外の会員と会員の家族を対象外とした。</li> </ul> <p>◆24年度の直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>八雲町宿泊施設宿泊料助成金 1,102,875円 、 その他 437,501円</li> </ul> <p>○25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例年通り、対象となる施設は、八雲町内の20箇所の宿泊施設</li> <li>中学生以上、小学生、小学生未満ともに、5,000円助成</li> <li>対象者は、小牧市在住、在勤、在学もしくは愛知県内の小牧市・八雲町交流市民の会会員とし、県外の会員と会員の家族を対象外とする。</li> </ul> <p>◆25年度の直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>八雲町宿泊施設宿泊料助成金 1,750,000円 、 その他 1,018,000円</li> </ul>														
	受益者負担	有 宿泊助成額5,000円を除く額														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,963	1,373	1,540	2,768	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.15	0.15	0.60
			人件費	千円	1,599	799	799	3,198
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	5,562	2,172	2,339	5,966
対前年比		%		39.0	107.6	255.0		
財源	一般財源	千円	5,562	2,172	2,339	5,966		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	八雲町宿泊施設宿泊料助成(H23までは小牧荘宿泊料助成)	件	目標	350	283	350
実績				318	243	223	
中部フィルハーモニー八雲コンサート、音楽指導		回	目標	1	—	—	—
			実績	1	—	—	
八雲町宿泊施設宿泊料助成PR(H23までは小牧荘PR)		箇所	目標	5	7	15	25
			実績	5	7	25	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
小牧荘宿泊者(助成対象者)(H24から八雲町宿泊施設宿泊料助成)	人	目標	350	283	350	350	
		実績	318	243	223		
中部フィルハーモニー八雲コンサート、音楽指導参加者	人	目標	800	—	—	—	
		実績	773	—	—		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	<p>宿泊助成及び利用者の人数が減少傾向にあるため、6月シルバー人材センターなど25ヶ所に八雲町宿泊助成のポスター掲示、各支所に申請書等の設置を実施した。1月には窓口配布用のチラシを作成しPR促進を図ってきたところである。事業の利用者数について目標の達成はできなかったが、200名を超える方に八雲町へ行っていただき、八雲町との交流のきっかけづくりに貢献した。</p>				
	事業を縮小・廃止したときの影響	事業実施における課題	<p>宿泊助成の利用者数が減少傾向。小牧荘が廃止になり新たに八雲町内20ヶ所の宿泊施設の利用が可能となったが、制度に対する認知度、宿泊施設自体に対する認知度が低いと思われる。平成20年から毎年200名以上の利用があるため、一定の利用ニーズはあるものの、施設のハード面や立地面において、時代とともに変わる旅行者のニーズに十分対応ができなかったことも要因の一つとされる。</p>				
		助成の縮小とともに八雲町に訪問する小牧市民が減少し交流する機会も減少傾向となることが予想される。					
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<p>昨年度はポスター、チラシの見直しや各支所等へのPR範囲を拡充したものの、思っていたよりも結果に反映することができなかった。より旅行者のニーズに合わせて、窓口でのわかり易い説明、スムーズな対応を心掛け、八雲の魅力が伝わるような斬新なポスター・チラシの作成をするとともにPR方法も創意工夫をして、もっと積極的にPRをしていかなければならない。</p>				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
		判定理由	<p>八雲町との交流を深めるため宿泊助成事業は重要な役割をはたしている事業であり、継続していくことが重要である。チラシの配布やポスター掲示など毎年実施することで着実に市民に浸透していくことが望ましいため。</p>				
26年度以降の改善案		<p>より多くの小牧市民が八雲町に行って交流を深めてもらうため、この事業が解り易く利用しやすくなるよう、旅行者の目線、ニーズに合わせてより魅力的なものとなるよう改善をしていく。</p>					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。